

10月の暮らし

目の愛護デー

広報かわにし

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎
 発行者 川西町 印刷所 白南風社
 (町長 中村壮吉) 定価 1部5円

人口の動き
 10月1日現在
 男 6710人
 女 6945人
 計 13655人
 世帯数 2709世帯



おかあさんもいつしよに (橋小学校の運動会から)

十月の行事

- 四日 三十六年度決算立合監査
- 五日 農業委員会(午前九時)
- 六日 民生委員推薦会(九時)
- 八日 第九回定例議会(十時)
- 十日 県町村長会(新潟市)
- 十一日 全国交通安全運動
- 十二日 国土調査委員会(九時)
- 十五日 県財政監査

きょう一日を

交通安全宣言をやったけれど、事故はべつだんへったともきかないがどういふことなんだろ。しかも、かえって事故件数のふえた所があるそうじゃないか。皮肉なものだね。

なにしろ、たいした車の数だよ。それにしても計画的な事故なんがあるはずもなし。要は運転者の心がまえひとつのことか。

町づくり

近ごろ、不可解なのは交通違反をやったものがべつに悪いことをやっただも思っていないらしいことだよ。スピードの出しすぎで、やれ何日間の運転停止をくったとか。オレは罰金を三千円とられたなどと平気な顔で話しているのをきくとぞら恐ろしいね。

車とスピードが不可分だから。両方とも人間の欲望をみたしてくるだけに罪悪感を殺してしまっているのだよ。

それほどではなくても、車に対して一種スポーツのような意識がひそんでいることはたしかだ。それというのもスピードのなせる

- 十六日 県財政監査
- へき地教育研究会 (赤岩小)
- 十九日 町長長期出張二十六日まで
- 二十日 第四回川西町実績発表大会 (仙田中)
- 二十七日 読書週間
- 三十日 正副議長事務局長研修会
- 三十日 郡市戸籍会議(役場)
- 三十一日 同 右

わざとということになるんだが、

そうすると車に対する意識を改善するのが大切ということになるのか。

それも大事なごとのひとつだが、それだけで解消できる問題じゃあるまい。

運転するのが人である以上、人間が完全であるはずはない。まして機械にだって故障はつきもの、しよせん、事故の絶無なんか望むべくもない問題さ。

そろそろつけられるとどうしようもないが、人間が完全でないといつてもそれに近づけることはできるし、予期しない事故だつてふだん車を整備していればふせげらると思ふよ。

それはそうだ、その点、きょう一日を無事故でという横断幕を見たことがあるがあの標語はいいね。きょう一日というのがいいよ。

運転者が毎朝、その日その日の無事故を家族にちかい、家族は家族でどうちゃんきょう一日を無事故で。兄ちゃんきょう一日を無事故で。どくりかえす。この習慣だよ。

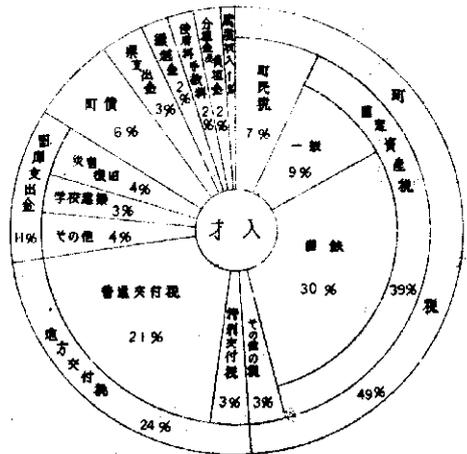
それも単なる習慣でなくて、みんなが折るような、きょう一日を無事故で、とゆきたいね。

町議会報告

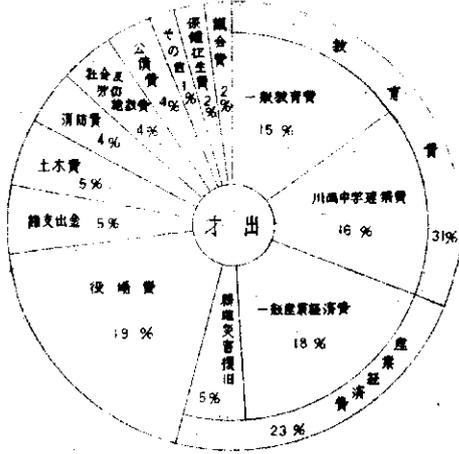
一億四千万の決 三十六年度を認定 追加予算は六百万を議決

第九回町議会定例会は十月八日に招集され、同日と翌九日の二日間を会期として審議された。この定例会は三月の当初予算議決に次ぐ重要な議案として、昭和三十六年度の決算、一般・特別会計合わせて六件の認定をはじめ、総計七百五十万にのぼる追加更正予算、税条例の一部改正、川西町青少年問題協議会設置条例、町税減免、鉄道債券の引き受け、その他約二十件が上程議決された。

一般会計才入才出決算額別比較図表



才入総計 147,183,009 円



才出総計 140,264,168 円

千円未満を省略

○一般会計

区分	才入決算高	才出決算高	差引
普通一般会計	127,496,126	122,478,413	5,017,713
学校建築特別会計	24,485,300	25,210,500	△725,200
耕地災害復旧特別会計	7,374,709	7,374,709	0
繰入繰出の関係	△12,173,126	△12,173,126	
合計	147,183,009	142,890,496	4,292,513

おもな追加は、教育費の百一十一万四千六百四十円、産業経済費の百六十三万五千六百四十円、諸支出金の百一十八万八千九百九十円などで、当初予算成立後追加された予算では七月追加に次ぐ大規模なものである。内容も複雑多岐にわたっている。

このうち、教育費の内訳は教育委員会及び各小中学校の経費で中学校体育大会出場費助成五万六千九百七十五円、三十七年度学力調査費三万五千五百四十円、へき地教育研究大会に二万一千三百五円、教員の東京教育大受講助成一万四千円などもあげられている。

産業経済費は農業振興費がその全部で、農業改良費として、日本一うまい米づくり協議会の負担金一十万円、水稲水分測定器購入補助金十万円、養蚕振興費百九十九万二千円、耕地災害復旧費三十七万六千九百円が追加され、林業振興費四万三千円が更正減となった。

諸支出金の中では、千手診療所

○特別会計

区分	才入決算高	才出決算高	差引
国民健康保険特別会計	23,205,933	20,773,280	2,432,653
直営千手診療所	8,339,022	8,312,192	26,830
権診療所	6,111,730	12,829,334	△6,717,604
繰入繰出の関係	△2,310,000	△2,310,000	
合計	35,346,685	39,604,806	△4,258,121

繰入金としてレントゲン購入費八十一万円のほか鉄道利用債利子負担金二十五万五千六百円、国体県選手強化事業費拠出金一万三千九百円等があがっている。

役場費は十三万八千円で職員旅費九万円、自動車用燃料費四万八千円がその内訳、消防費では可搬ポンプ二台の購入費として六十三万円、桐山水槽工事追加五分五円その他あわせて八十五万五千五百円となっている。

土木費の七十三万五千円は修路用自動車借料五万円と、工事請負費の舞谷千手線四十四万二千円、下原木落線二十四万三千円の追加からなっている。

また議会費八万円は議長交際費五万円、自治名鑑購入負担金三万円である。

その他、社会及び労働施設費、福祉費、青少年問題協議会費、保健衛生費(環境衛生費、結核予防費、火葬場費)、選挙費、公債費等で、才出の追加合計は六百五万

○合計

区分	才入	才出	差引
一般会計	147,183,009	142,890,496	4,292,513
特別会計	35,346,685	39,604,806	△4,258,121
繰入繰出の関係	△1,840,000	△1,840,000	
合計	180,689,694	180,655,302	34,392

一千七百四十円となっている。

財源は町税 三百四十万円など

これに対して才入(財源)は、地方交付税七十八万円、分担金及び負担金三十一万三千三百円、町税三百四十万五千三百四十円、国庫支出金六十九万九千二百三十円、国庫補助金四十四万四千二百六十円、県支出金八十七万三千三百三十円、寄付金七十七万七千四百四十円、合計六百五万一千七百四十円。

このうち、国庫負担金の十六万四千九百七十円は教育費負担金で教材費十万一千三百十円、就学奨励費六万三千六百六十円が内訳、国庫補助金四十四万四千二百六十円の内訳は、教育費補助金二十二万二千円、勤業費補助金二十二万二千二百六十円で、この勤業費補助金は集団養蚕機施設と桑い縮病予防費の補助金となっている。

寄付金は仙田診療所用地買収地元寄付金七万円が主である。

ふるさと

どんな作物が有利か、新聞紙上の五十四作物調査結果を興味深く読みました。十アール当たり総産差引所得額は①石垣いちご二五万②セリ二二万③三郎一〇万④切りみつば八万⑤パセリ七万⑥梨七万⑦桃⑧露地いちご六万⑨小カブ五万⑩梅五万。一人一日当たり労働報酬では①梅一六四九円②桃一三九〇円③梨一三三三円④石垣いちご二六六四円⑤パセリ一〇八九円⑥葡萄一〇六五円⑦生葱一〇五九円⑧セリ一四九四円⑨小カブ九一三円⑩水稲九〇九円。当地の農家に関係のないものはかりがベスト十の所得額を誇り、労働報酬で水稲がやと十位にはいっています。日農村へも文化の波は押し寄せ電化製品や農機がふえています。文明食之とやらで支出が収入をはるかにうまわれるこのころ、財布をあずかる主婦は頭が痛く、何とか収入の道はないものかともうかる農業への夢はひとしおのものがあります。鶏を飼っている飼料や糞は上がりながら卵はかわらぬ高肉を買いながら安い子豚を売らねばならぬことをどう解したらよいのでしょうか。このころ痛感することは小規模な経営を一人相撲でしてはだめだということ。小さな力を合わせて強力なグループとして考えよせいアイデアを生み他山のものを羨しがらばかりでなく、川西にはこの土地の特産としての前記を上回る収入をあげ得る産物を作り出し大いにもうけ、文化生活を楽しむ百姓になれないかと考えます。A

ふるさとをさぐる②

節黒城と上野 氏 (一)

むかし、城山上野長安公といふ殿様がいた。その上野という姓をもらって、上野村という名前が生まれた。と、わたくしたちは長い間教えられてきた。

これはウソである。(ウソだといふはなしを述べるだけでも、一回分の原稿用紙では足りないのです。よすが。とにかく、ウソであることは確かである。)

ふるさとをさぐるのもけっこうなことであるが、ウソの上塗りをしていないように気をつけなければならぬ。それだけに町民のみならず、さんからいろいろと教えていただきたいことが少なくない。

節黒城のこと 上野氏をかたる前に、この城のことが肝心のはなしになる。現在の城跡は、本丸はもとより楯郭、腰郭、袖郭などがはつきりのこっていて、山城としての代表的な形を示している。

この形は、郡市内では、千手城や大井田城(十日町市中条)などと同種で、高田の春日山をひとまわりコジソマリとさせたような姿である。とにかく、この地方ではもったも大きな規模で、しかもとどのつた構造であることは、ほこってよい。

また、とくにめずらしいのは、山頂への登り口から横にわかれてすすんでいくと、簡単なものではあるが、やはり城跡とおもわれる平地がある。四条の空ほりによって二つの郭がわけられただけの単純なものだが、おそらくは山頂の城に対する冬城ではなかったかと考えられる。

冬城は、積雪期に山の上で守っているのが困難なので、一時的な防備の場所として中腹に設けたもので、藁雪地に見られる特殊な形である。この例で知られているものに、小千谷市の時水城がある。本丸やほりの構造などを全体的にみると、南北朝から室町時代の名残が多いとのことだ。中魚沼郡誌に述べている上野長安公の居城ということに符合している。

むかしから語りつがれてきた話によると、正平七年(一三三二)新田義宗が、武蔵國小手指ヶ原の戦に敗けて越後に退いたとき、大急ぎでこの城を築いたといわれ、ありあわせの雑木を取りあつめて組立てたため、黒木の城と呼び、また節が多くあったので節黒城ともいったという。(文化元年節黒城蹟記による)

義宗は、南朝方の総大将格であった新田義貞の子で、後醍醐天皇の御子宗良親王(ムネナガ)を率じて転戦していたため、この節黒城にも親王が必ず降陣されていたと説く人がある。しかし、このことについては確証がまったくない。

国民年金法の一部が改正され、年金や扶助料の受給者も、十月一日から福祉年金が受けられます。すぐ届出をしてください。

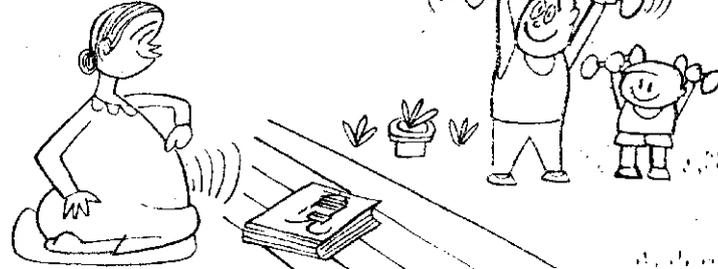
公的年金受給者も 福祉年金が受けられます

恩給法や援護法の改正で、年金や扶助料の額が増額されますが、それに伴い国民年金法も改善され年金や扶助料を受けている人にも福祉年金を支給することになりました。年金や扶助料を受けていたため、今まで老令福祉年金、障害福祉年金、母子福祉年金を受けることができなかった人も、手続きをすれば十月分より両方の年金を受けられます。次のことに留意して、至急手続きをしてください。

①年金、扶助料の証書または保管証 ②本人の印かん ③戸籍抄本 注意 この届出は個人に通知案内をしませんので該当と思われる人は忘れず申し出をしてください。届出をしないで一定期間を過ぎると福祉年金を受ける資格がなくなりますからご注意ください。

【スポーツの日(6日)】 10月第一土曜日 文部省

みな元気で さすがはスポーツの日ね ぼらは、きょうはおなかのこともまが動くわ



十月も半ば、ことしもまた豊作の秋とか、農家のみなさんに心から感謝を申し上げるとともに日ごろの努力と研究に対し深い敬意を表するものである。一口に豊作とはいってもそれが七カ月余りからの努力の結果であることを考え、新米の一粒一粒をみんななかみしめ味わいたいものである。

ところで豊作は喜ばしいことながら現在の農村において、幾多の考えなければならぬ問題が横たわっており、野ばなしに万歳をする気にはなれないようだ、その一つに農家に嫁の来てがないという深刻な問題がある。筆者が青年グループに参加すると共通な話題としてこのことが取りあげられていた。

かたや

先般、中里村で都市青年リーター研修会が開催されたが、その分科会でこの問題がしんげんに討議されていたようである。また地域の婦人たちの間でもこんなことをよく聞く「このごろの若い娘たちはおらの若いときと違って農家に嫁にいきたがらず、サラリーマンにあこがれている、変わったものだ」と、しかし農家の後継ぎに嫁になてがないという「それは困ったものだ」とでる。これでは困ったものではない。なぜ、農村に嫁の来てがないのか、じっくり考えたいものである。試みに女子青年の声をあげると、農業そのものがきらいなのではなく、農村の生活様式や農家の経済がなんとしても嫁にいく気になれないのだと声をそろえていう、全部が全部そうだとは思えないが共通の話題としてとり上げられてもよさそうな学習テーマではないだろうか。

農業基本法ができたことは喜ばしいかも知れないが、山間部における農村では納得のいかないところだらけである。だからといってそのままにしておいてなんとなかなるだろうということにはならないだろうと思う。町の中ではブルドーザーの音が高鳴り、開田がどんどん行なわれていることは事実かも知れない、が学習面や生活様式においてはもっと考慮する必要があるのだろうか。青年たちはその希望を持ち、一歩一歩ではあるけれど、また地道とは思わがしんげんに考えていることは喜ばしい限りであり、われわれも先輩や親としてなんとか住みよい農村になるための全力をつくして育てたいものである。

この二十一日に第四回川西町青年活動実績発表大会が会場を仙田中学校において行なわれるが、これは青年たちが過去一年間の実績をお互いに発表しあい、研究しあい、あすへの糧にする大きな事業である。とかく青少年の問題がとまかくいわれている昨今賞賛を惜しみなく差し上げたい。中には「嫁キシン」と題し青年自ら脚本をつくり上げ上演するものもある。目の中に入れても痛くないといわれているかわい子どもの将来のためにも、みんなで会場につめかけ耳を傾けてやりたいと思う。そのことが青年にどれほどの勇気と喜びを与えることであるかを声を大にして叫びたい。

全国交通安全旬間に よせて

十月十一日から二十日まで秋の交通安全運動が全国いっせいに展開されています。地震雷火事おやじはひと昔前のこと、おやじがその座を失いトツプに交通事故があるとほだれしも認むるところであります。七月十日新潟県が交通安全全県の宣言をなし、同時に川西町でも交通安全町を宣言し、対策協議会を設置し、各機関全町民協力の下に交通事故のない平和な町で安心して暮らせる環境を築くことに一歩進んでいます。不幸にして事故の絶えることがありません。

九月一カ月間の全国交通事故による死者は千五百人、一日三十三、五人が驚く人命を失っています。秋の交通安全旬間に運転者も歩行者も交通規則をさらに尊重し気をつけ合い明るい町づくりに努めたいものです。

安全旬間中の行事

川西町交通安全協議会が、秋の全国交通安全運動実施に先立ち十月五日に町役場で開かれた。さきに交通安全の宣言をした川西町として、実情に即した実施計画の立案を審議した。この結果、安全旬間中は次の計画にそって交通安全運動をとりあげ、全町民に協力を求めて事故の絶無を期することになった。

交通安全運動実施の目的
すべての町民に、正しい交通の

あり方と交通安全の思想を周知徹底することにより、交通道徳の高揚と交通秩序の確立をはかる。

実施の重点目標

- 正しい運転の遵守
- 正しい歩行の励行
- 児童と幼児の安全の確保
- 雇用者等の義務觀念の向上
- 交通環境の整備
- 踏切道安全通行の徹底

十月十一日 有線放送を通じて町長あいさつ 町内の各要所にポスター掲示 各学校ごとに校長が訓話

十月十二日 町の主要路を宣伝車で巡回し、町長が放送。チラシを配布

十月十三日 警察と役場と運転者協会が協力し、次の四地区で街頭指導をする。時間は午前七時三十分から、午後一時三十分から、午後四時三十分からいずれも一時間ずつ。

(千手) 川西町役場前
(上野) 富屋十字路
(橋、仁田) 木落入りの口
(仙田) 角屋自転車店前

十月十五日 千手小学校音楽隊の町行進 中仙田小学校で映画会(夜)

十月十六日 橋小学校で映画会(夜) 十月十七日 上野小学校で映画会(夜) 十月十八日 千手小学校で映画会(夜)

十月十九日 街頭指導(十三日と同じ要領)

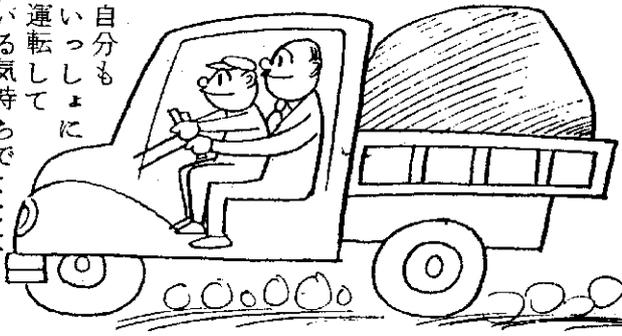
さわやかな秋晴れのもと連日取り入れ作業が進んで、刈り取りもほとんど済み、かおり高い新米がぞくぞくと出荷されております。

当町では去る十三日、郡内のトツブを切って田中町の雨雲さんたち四名が昭和三十七年産米初出荷を行ない、以後十月一日の早場米第一期締切までに町内四農協に二万七千八百十三俵の新米が送り出されました。

ことしの予約売渡申込数は五万四千四百五十一俵と昨年を十八パーセントうまわり、今月末には完納が見込まれています。出荷されたお米の内訳を見ると別表のように、一等米二九パーセント、二等米四四、六パーセントで

供米ニューズ

このように好結果をもたらした原因は、なんといっても年間特に刈り取り期の好天に恵まれたこと、病害虫発生を最少限に食い止めたこと、窒素質肥料過多のいましめによる「健康な稲づくり」や防除の徹底、優良奨励品種の作付面積の増大等適正で技術の駆使により品質向上を図った農家の努力の結果と思えます。従来とかく品種が雑多である、品質が一定でない等批判があった「新潟米」の声価を「日本一うまい米」にしようとする係者ごぞつて推進に努めていると、きまことよるこばいことである。今後いつまでも「米どころ」としての名声を持続していくため町民ごぞつて努力と研究を続けることをねがってやみません。



自分もいっしょに運転して
いる気持ちで……
全国交通安全運動(十一月一日、二十日)

米の売渡状況

第1期締切 10月1日現在

地区	等級	1等	2等	3等	4等	5等	計
千手		1920	5805	4032	434	7	12198
上野		1101	2960	1533	350	5	5949
橋		2094	1868	1496	182	17	5657
仙田		1252	1765	892	91	9	4009
計		6367	12398	7953	1057	38	27893
同上	比率	22.9%	44.6%	28.6%	3.8%	0.1%	100.0%

出かせぎの分科会

取り入れが一段落してやれやれといったところ、春似来泥にまみれた人たちがまた出かせぎをするころになった。「元気で、無事に働いてきて」という家族の声をあとに、これからぞくぞくと旅立つことであろう。おりもおり、前号で報じた研修会の際の、出かせぎについての分科会記録を入手することができた。以下、ここにそのあらましを紹介する。

話しあいの記録

分科会の主題「出かせぎをどう考えたらよいか」

出席者 仙田地区内の男女青年団員、婦人会員、婦人学級生 計三十二名

部落ごとの実態

毎年十一月のはじめに出かけ、四月上旬まで働いて三万円平均の金を持って帰る。青年たちは金というよりもきれいな仕事を好んで東京方面へ、オヤシ連中は金にさえなればという考えかたで何でもやる。たとえば銀座のまん中での土方、やきいも屋、長野のかん天屋など

出かせぎの目的

金がほしいために出る、というのが共通の意見だった。青年たちの中には「この土地に冬中いてもおもしろくない。それよりも働きに出て、自分の取った金を自分で自由に使いたい」という者もあつたが、できれば出かせぎなどしないで、みんなと一緒の生活がしたい、という切実な声が多かった。

家族の気持ち

社会教育

自分の好きな所で働きたい。オヤシはあまり金にこだわらずに出してもらいたい。もっと自由にしてくれば、責任をもって、自分で働く場所をみつけれ。(青年)

やはり、金を取ってきてくれなければ困る。そう好きなようにばかりはさせられない。(オヤシ)

金さえあれば出したい。(オヤシ)

マイナスの面

①東京の生活になれて帰るのがイヤになる。②勉強のチャンスは冬なのに、出かせぎをするとなんかできない。③秋になれば東京に行き、春はおそく帰るので百姓に身がはいらない。(青年)

①雪崩りに困る。②子どもの勉強を見るのに夫がいてくれたらと思う。③さびしい。(婦人)

プラスの面

①収入をもらたす。②社会的な視野を広める。③都会の文化を吸収できる。④子どもがおとなになつて帰る。⑤春の再会が楽しみ。⑥けん忘期を克服できる。⑦村に帰って話題が共通する。

青年たちの希望

新婚当時は二人で出たい(男子)

結婚後、二年くらいは二人で一緒に出て働きたい(女子)

まとめ

好んで出たくはないのだが、しかたがなくて出る、というのが現状。そうしたら、①金を取り、②視野を広め、③マイナスの面を排し、④プラスの面を生かし、⑤暮らしを向上しよう、ということになった。「どうしたら出かせぎをしないですむか」という問題を次の集会で話しあうことにした。

ラジ才農業学校 家畜飼養の考えかた

「これからの畜産
転換期にきたわが国の農業の今後
のあり方については、いまあら
ゆる方面から検討されている。農
業を改善して農家の所得を他産業
と同一レベルにまで引き上げよう
とする気運が高まっている。当時
者である農家も無関心ではあつた
ならぬが、みずからの研究と努
力て解決せねばならないいくつか
の問題をかかえている。所得増加
のしな手として畜産に対する期
待は大きいとはいえず、従来の経営
様式のままでは畜産をとり入れ、た
だちに所得の飛躍的増大を望むこ
とは不可能である。これまで新潟
県の農業は水稲栽培を中心として

わつてきた。もちろん今後水稲
の比重は首位を占めるであろうが
今後他産業と同じ所得をあげるた
めには、これまでの副業的な畜産
の域を脱して、新潟県農業を水稲
十畜産十〇〇という姿に組みかえ
経営の中に畜産という柱をもう一
本たてて、それぞれ同程度の収入
をあげる新しい農業の方向に備え
なければならぬ。

三収入をあげる用畜へ
新潟県の家畜頭数を大家畜の単
位になおしてみると十三万頭を越
えており、全国的にみて十番目ぐ
らいであるが、畜産部門の収入は
極めて少ない。農家の現金収入に
対する畜産収入の割合は、全国平

表1 国民の食品摂取量 (昭和24=100)

食品	昭 33	昭 34	食品	昭 33	昭 34
総量	104	108	肉	326	324
こめ	107	110	卵	462	516
むぎ	63	51	野菜	83	86
いも	43	39	魚介	134	130
乳	565	697			

表2 10年後の農産物生産の目標

品名	目標	品名	目標	品名	目標
こめ	1.1	野菜	1.1	豚	4.0
むぎ類	0.9	果物	2.0	めん羊	2.4
とうもろこし	1.3	なたね	1.0	鶏	1.9
大豆	1.0	乳牛	3.6	蚕	1.0
いも	1.0	和牛	1.2	えさ	2.2

戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

相崎 和子 誠 長女 沖立
相崎 利子 誠 二女 沖立
藤巻 茂巳 晃 二女 上野
中村 左千子 一夫 長女 坪山
星名 明美 義一 長女 高原田
相崎 紀子 武 長女 荒所通
佐藤 俊昭 昭二 長男 中央町
野沢 加三 昭三 二女 野口
田口 典夫 直正 二男 木落
丸山 みや 作 長女 根 深
南雲 広子 貞松 三女 中仙田
高橋 文一 隆一 長女 大白倉

表3 昭和37年 2 月調

類別	年 別	川西町
乳 牛	36	43
	37	54
役肉牛	36	578
	37	465
馬	36	12
	37	7
めん羊	36	88
	37	43
山 羊	36	338
	37	387
豚	36	808
	37	865
鶏	36	7,775
	37	7,600
兎	36	516
	37	834

均十二パーセント程度であるのに
くらべ、本県は五パーセント程度
で、全国で三十五番目というなさ
けない状態である。

それでは家畜頭数は多いが収入
は低いという原因はなんだろうか
密度が低い、飼育技術が低いとい
ったことのほかに、最も大きい原
因は、もうかる家畜が少ないとい
うことである。

第一表は昭和二十四年の国民一
人当たりの農産物消費を一〇〇
とした場合の現在の消費状況であ
るが、米の一割増、麦の半分に
らべ、畜産食品は三倍から七倍に
のびている。

三畜産物生産の見込み
このような消費の伸びにともな
って、農業所得を増加するために
畜産部門の位置を高めなければな
らない。

第二表はいろいろな農産物が今
後どのように変わってゆくかの見
とおしである。

第二表から考えられるのは普通の
農作物にくらべ、畜産の生産物は
二倍から四倍ほどの増産をみこん
でいるということである。

本年二月、川西町畜産現況は次の
とおりである。

昇天—御めい福を祈る

岡島 リイ 大白倉 六二
岡島 秀治 大白倉 六四
木村 ソノ 室 島 七三
白井栄太郎 田 戸 八二
茂野好太郎 藤 沢 八一

たかさご—御円満に

○新婦 高橋 登坂 武雄 赤谷
○新婦 高橋 登坂 武雄 赤谷

保健婦室

赤ちゃん ③

母乳が足りないことがわかって
ミルクをたそうとしても、なかなか
飲まない赤ちゃんがいます。お
腹がすいているのにどうして飲ま
ないのだろうか、乳首をかえて
みたり、飲ませ方をよくしたり
甘みや温度を加減しているおかあ
さんの努力にもかかわらず、あく
までもきらら赤ちゃんが多いの
です。生まれてまもないときにミ
ルクを飲んだために、アレルギーに
なっているのだという考えも出て
きます。ミルクを飲んだことの
ない赤ちゃんは、味に対して敏感
なのだということもあります。確
かにこのように赤ちゃんの
中には、離乳食に対して
好き嫌いをはっきり示
すことがあります。しか
し中にはミルクだけに慣
れないという赤ちゃんも
います。こういう赤ちゃん
んでも、すっかり母乳をやめてし
まうと、まもなくミルクを飲むよ
うになるのが大部分です。したが
って規則授乳をして空腹時間をと
つてみるように努めましょう。又
このような赤ちゃんは少し早めか
ら離乳準備をはじめ栄養に欠陥を
きたさないように注意が必要で
またビタミンBの源である果汁を
非常にきらら赤ちゃんもあ
がそれは冷たいせいとか、味に慣れ
ないからでしょう。みかんの汁は
飲まないがリンゴや梨の汁なら喜
んで飲む赤ちゃん、あの臭い肝
油でも喜んで口を開けるかと思
うと、三四カ月ごろから好きさ
いはっきり示す赤ちゃんがい

このことから心理的には二つの考
えが出来ます。一つは味に敏感で
あるということ、もう一つは初め
てその食品が口にはいってからの
印象が悪かったのではないかと
いうことです。どちらにしても根
気よく慣らしていくことが大切で
一日一さしは必ずためてくださ
い。でもビタミンが不足しないか
栄養がとれないのではないかと
いう心配から、無理やり飲ませよ
うとする赤ちゃんの心に抵抗を
くつてしまえばなかなか指導し
にくくなりますから無理に口に入
れるようなことはしないでくださ
い。離乳期の食事と同じで、無理
に口に入れるというので食事時間
が長びいてしまいます。また何と
かして赤ちゃんの栄養状態を保
つとあせるあまり赤ちゃんの好む
食物ばかりをつくって与え、離乳
期に、「卵以外は食べようとしな
い」とか「野菜はまったくだめ
い」という子どもにしてしま
います。こんな時は赤ちゃんのお腹をすか
せることが第一です。食べたが
らないならばいさぎよくさけてしま
い、次の食事時間まで待つのです
途中でお腹がすいたように泣け
しめたものです。その時かわい
うだといって食物を与えては効果
はありませぬ。泣いてもがまんし
てくださいというところでは栄
養失調になってしまふと心配
するおかあさんがいますが、これ
を栄養失調恐怖症と名づけて、お
かあさんの問題として扱います。子
どもの嗜好にとらわれず、きちん
と導すればそれをたよりに生活する
能力を自分からさめるでしょう。

白倉校に映写機

在京の篤志家たちが寄贈

白倉小学校(斉藤健蔵校長)にエルモAR十六型のすばらしい映写機が寄贈され、子どもたちはもちろんのこと、とれ秋の村人たちを二重の喜びにわたたせている。斉藤校長の就任以来、へき地の子どもたちに何とかしてすぐれた視聴覚教育を、という声があつた。高まつてきた同校区であつたが、校長さんや中村教諭(視聴覚主任)がいかりり喜んでみて、かんじんの映写機は一台もなく、買いたいにも財政難でつい二の足をふまなければならぬ状況であつた。このことを見かねたPTA(江口定之会長)の人たちが中心となり、同校出身の在京者に呼びかけたところ、郷土愛にもえる人たちが心からの賛同をよせられ、ついに多年の要望がかなえられることになつたもの。いまも学校あてに、篤志家の寄付金が毎日のように寄せられているというが、そのだれもが「へき地に育つ白倉の子どもたちが将来、社会におくれないつばな人間に成長してほしい」という手紙をそえてあるとか、そのあたりの思いやりを、江口会長らは目をうるませて感謝している。斉藤校長は「ほんとお礼のことばもありません。みなさんの郷土愛にはた頭の下がる思いです。子どもたちが先ばいの期待にこたえられる人間になつてくれるように、職員やPTAの人たちと力を合わせて人づくりを推進するつもりです」とかたつてくれた。

東京で読む広報

郷土から送られてきた広報を前にし、なつかしさのあまり筆をとりました。暑い夏もすぎ、黄金の稲の波の刈り取りにこま忙などごさいましょ。月日の流れとともに川西町も飛躍的に発展を遂げているらしく陰ながら喜んでおられます。大都會のあふれる人びと、流れる車のほか複雑な境地にあって忘れがたいのはのどかに美しいふるさとの風景であり、素朴な人びとのこと。先日は久しぶり

に郊外に出ました。自然の美しさに接し新鮮な空気を胸いっぱい吸いこみ、ふるさとの澄んだ空をしのびました。若い人たちはともすれば農業をきらい郡会のはなやかさにあこがれがちです。でも郡会の混みいったところよりは澄みきった空気と自然の美しさの中で汗を流して生きるのが、どんなによいことかと感じられました。それそれ自分に与えられた道にそって前進せられんことを祈ります。(在東京 一主婦)

電話料金がこう変わりました

電話公社では、これまでの電話料金制度を九月三十日から改正いたしました。

これまでの市外通話は、三分(一通話)ごとにくらという計算で、通話が四分で終つても二通話つまり六分ぶんの料金でしたが、改正後は三分をこえると実際に通話した時間に応じ一分ききみに料金を払う方法になります。ちょうどタクシーのメーターに似ています。三分まではいくぶん高くなりますが四分、五分になると安くかけられます。

千手局から主要対話地への新旧料金対照例

対地	新旧別	1分	3分	4分	5分	6分	7分	8分
十和田	新料金	15	20	25	30	35	40	40
	旧料金	14		28				42
山形	新料金	21	28	35	42	49	56	60
	旧料金	20		40				60
六日町	新料金	27	36	45	54	63	72	72
	旧料金	25		50				75
野沢	新料金	54	72	90	108	126	144	144
	旧料金	45		90				135
新潟	新料金	90	120	150	180	210	240	240
	旧料金	90		180				270

コンロの火災

いま全国で、石油コンロの火災の多い日はないくらいです。石油コンロは、いまや火つけの王様と なりました。

大体石油コンロは三千円ぐらいでそんなに高いものではありませんが、全国で起きている火災の多くはコンロの古いものを無理して使つて間違ひを起しているようです。古くなるとうとうしてもその機能が減退してくるわけで、人間だつて毎日毎日一日の休みもなく長い間働いていればどこか故障が出るのですからときどき故障や危険のないように健康診断をして安心して使えるよう心がけてください。また使用法についても使用中に石油をつぐなど絶対しないことです。十一月一日より七日までは「秋の火災予防運動」を実施することに なり、みなさんの家庭の火災予防 査察を行なわせていただきますのでよろしくおねがいします。

- 査察カ所
- 一、かまど及び煙突
 - 二、風呂場及び煙突
 - 三、石油コンロ
 - 四、コタツ
 - 五、電気関係
- (消防係)

増田さんの善行

仙田小学校のグラウンドは、球技運動のとき球が坂下に転がり落ちて子どもたちが拾うのに苦労し、また、排水が悪くて悩みの種となつていたが、このほど室島の増田秀男さんが球よけ用として百メートル余の金網と杭を寄贈、人夫や自動車を使って広いグラウンド一面に砂をまいて二つの悩みを解決してくれた。立派になったグラウンドで子どもたちはのびのびと運動ができるようになって大喜びだ。

町の掲示板

技能検定試験のお知らせ

実施される検定職種は、家具工、タイル張工、建築塗装工、木型工、更正タイヤ工、活版工の六職種で第一次試験の受付は十月一日から十月二十日までです。希望される方は左記へ申し込むこと。

新潟市学校町一新潟県職業訓練課 にお、技能検定の目的は、労働者の技能と社会的地位の向上をはかり、技能検定に合格した方は一級は労働大臣から二級は知事から合格証書が交付され技能士と称することができま。

秋の赤ちゃんコンテス ト入賞者さま

新潟日報、森永乳業主催の赤ちゃんコンクールに次の四名が入賞一位になった渡辺美幸(上野)ちゃんは大大会に出場した。 晴れの優良児は1位渡辺美幸(上野道助長女)入賞◎高橋洋子(高倉栄一長女)◎中村千恵子(岩瀬昌広長女)◎里名由美子(田戸茂利二女)

結核予防で表彰される

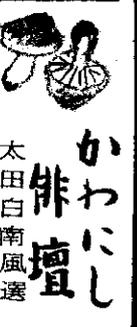
川西町公衆衛生推進委員協議会が、地区組織により結核予防の基礎的である健康診断を推進した業績により県から表彰された。

第四回青少年実績発表大会

公民館、連絡協議会共催による実績発表会は来る十月三日午前十時から仙田中学校で開催される

町内人事

仙田出張所へ和田ユリ(南魚大和町)さんが保健婦として赴任。花いついばい運動はじまる



かわにし俳壇

元町 金子 生
○仲秋の月すかす雲かくす雲
上野 みよし
○早生小豆植打つ姿に秋日濃し
大倉 金子 洋 石
○秋耕の人等に遠く山階るる
越ヶ沢 小川 辰 治
看護婦の白衣のまぶし秋日和
小白倉 江 口 凡 石
草の花皆それぞれに色持ちて
小白倉 田 中 緑 風
そばの花白さに月の登りけり
新町 新 風
こぶしにて汗拭いたる大根時
秋空に交通整理の笛高し

編集後記

二十九日 野菊にむらがついてた
#せせり蝶の小さい茶色が見え
なくなつた。
十月一日 供米第一期締切日、農
協倉庫は米俵をつんだ耕運機の長
蛇の列、豊作にえがおも明るい。
五日 日中気温十八度、栗のこっ
色の実が草間に光り、虫の大交響
楽、川西郷の秋は美しくふけてい
く.....
十月の声とともに稲刈りもほぼ
終了しました。豊作をお祝い申し
上げます。